

2022年度 小樽商科大学編入学生募集要項 (昼間コース・夜間主コース共通)

1 募集人員

商学部	{	経済学科 商学科 企業法学科 社会情報学科	各学科若干名
-----	---	--------------------------------	--------

2 編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は、2022年4月1日とし、第3学年に編入するものとする。

ただし、入学前の大学等における既修得の認定単位数によっては2年次への編入とする。

3 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 日本において、学士の学位を有する者及び2022年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における14年以上（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- (5) 本学以外の修業年限4年以上の大学において2年次以上に在学（休学期間を除く）し、62単位以上を修得した者及び2022年3月までに修得見込みの者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育による14年以上の課程を修了した者
- (7) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること）を満たすものを修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有するものに限る。）
- (8) 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であり、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすもの）を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (9) 我が国において、外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者

4 出願期間

2021年9月6日（月）から2021年9月13日（月）まで

郵送の場合は、9月13日（月）必着。直接持参する場合は、8:30～17:15まで（12:00～13:00を除く）とし、土曜日及び日曜日は取り扱わない。

5 出願手続

(1) 出願書類等（*印は、本学所定の用紙）

書 類 等	提出者	摘 要
*入 学 願 書	全 員	出願前 3 か月以内に撮影した写真を 1 枚貼ること。
*受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	入学願書と同じ写真を写真票に 1 枚貼ること。
*履 歴 書 (入学願書の裏面)	全 員	
卒業（見込）証明書又は 在学証明書	全 員	卒業した者は卒業証明書，2022 年 3 月卒業見込みの者は卒業見込証明書，在学中の者は在学証明書（在学年次を明示したもの）を提出すること。
成 績 証 明 書	全 員	在籍又は出身学校長等が証明したもの。（修得単位数が明記されたものとする。なお，2022 年 3 月までに単位修得見込みの科目については，評価欄に○印を付すこと。）
*あ て 名 票	全 員	郵便番号，住所及び氏名を明記すること。
検 定 料	全 員	昼間コース；30,000 円。夜間主コース；18,000 円。 普通為替証書（郵便局の貯金窓口又はゆうちょ銀行で購入すること）とし，指定受取人欄，受領印欄，委任欄には一切記入しないこと。 なお，出願受付後の既納の検定料は返還しない。
そ の 他	該 当 者	(1) 日本に居住する外国人は，在留カードの写し（転入届を済ませていない者は，パスポートの写し）。 (2) 提出書類中，外国語で書かれた証明書等には，その日本語訳を添付すること

注：出願資格の(7)により出願する者は，上記の出願書類の他に，次のいずれかの書類を提出すること。

ア 修業年限が 2 年以上で，かつ，修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上の専門課程を修了したこと又は，修了見込みであることを証明する書類

イ 専門士の称号の付与が認められた専門課程を修了したこと又は，修了見込みであることを証明する書類

注：出願資格の(8)により出願する者は，上記の出願書類の他に書類提出を求める場合があるので，出願前に教務課入試室に相談すること。

(2) 願書提出先

〒 047-8501 小樽市緑 3 丁目 5 番 21 号 小樽商科大学教務課入試室 ☎ 0134-27-5254

(3) 提出方法

志願者は，角形 2 号の封筒に出願書類等を取りそろえ，封筒の表に「2022 年度昼間コース編入学出願書類在中」又は「2022 年度夜間主コース編入学出願書類在中」と朱書きして，提出すること。

なお，郵送する場合は，必ず**書留**にすること。

(4) 出願上の注意

ア 受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しない。

イ 出願書類に不備がある場合は，受理しない。

6 選抜方法

学力検査（各学科において定めた科目等）の成績及び面接を総合して判定する。

学力検査の科目及び配点

学 科	科 目 等		配 点
経 済 学 科	専門科目 [注 1]	経済学	200 点
	外国語又は数学 [注 1]	英語又は数学 (出願時に 1 科目選択)	100 点
商 学 科	専門科目 [注 1]	商学	200 点
	外国語又は数学 [注 1]	英語又は数学 (出願時に 1 科目選択)	100 点
企 業 法 学 科	小論文 [注 2]	法律問題に関する小論文	200 点
	外国語	英語	100 点
社会情報学科	専門科目 [注 1]	オペレーションズ・リサーチ	200 点
	外国語又は数学 [注 1]	英語又は数学 (出願時に 1 科目選択)	100 点

[注 1] 2022 年度編入学試験における参考文献については、7 頁を参照すること。

[注 2] 基礎的な法的思考力（考察力，文章表現力，論理的思考力等）を見るための試験である。必要な場合は，問題に参考資料を添付し，あるいは受験時に六法を貸与することがある。

7 学力検査の日時等

(1) 学力検査 2021 年 10 月 16 日 (土)

学 科	時 間	科 目 等
経 済 学 科	10:00~12:00	専門科目
商 学 科	13:00~14:30	英語又は数学
社会情報学科		
企 業 法 学 科	10:00~12:00	小論文
	13:00~14:30	英語

(2) 面 接 2021 年 10 月 17 日 (日) 10:00~

(各自の面接予定時刻については，受験票送付時に別途通知する。)

8 試験場

小樽商科大学 (小樽市緑 3 丁目 5 番 21 号)

9 合格者の発表

2021年11月11日(木) 10:00

合格者の受験番号を、本学大学会館前及び小樽商科大学教務課入試室受験生サイト (<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/>) に掲示する。さらに、合格者には、合格通知を送付する。

10 合格発表後の流れ

【2021年12月下旬】

- ・編入学年次決定に係る書類の提出手続(※1)

【2022年2月下旬】

- ・編入学年次の決定・通知

【2022年3月】

- ・研究指導(ゼミ)の選考・決定手続(※2)
- ・入学手続

※1 入学前の大学等における既修得単位の認定手続について

本学に入学する前に在学した大学等において修得した単位については、小樽商科大学学則の定める基準に従って、その一部を本学の単位として認定することができる。

※2 3年次編入の場合は、所属希望ゼミへの選考活動を行う。

なお、選考の結果、定員等により希望が叶わない場合がある。

11 入学手続

(1) 入学手続期間

2022年3月23日(水)から2022年3月26日(土)まで

手続方法、受付時間帯等の詳細は、合格通知送付後の入学手続案内により通知する。

なお、入学手続期間中に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

(2) 提出書類

本学が指定したもの(入学手続案内により通知する。)

(3) 入学手続に要する経費

入学金及び授業料

	昼間コース	夜間主コース	納付時期
入学金	282,000円	141,000円	入学手続期間内に納付
授業料	前期分 267,900円 [年額 535,800円]	前期分 133,950円 [年額 267,900円]	入学後(2022年4月中)に納付

注) 上記の納付額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から、新たな納付金が適用される。

ア 入学金、授業料の納付方法、免除、徴収猶予の申請等詳細については、入学手続案内により通知する。

イ 既納の入学金は、いかなる事情があっても返還しない。

【入学金免除等の問い合わせ先】

小樽商科大学学生支援課授業料免除担当 ☎ 0134-27-5245

12 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等（身体障がい、発達障がい、精神障がい、病弱・虚弱等）があり、受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者は、出願開始日から起算して1週間前までに本学教務課入試室に相談すること。

日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、配慮を必要とすることがあるので、必ず相談すること。

なお、期限経過後及び出願後に配慮が必要になった場合は、速やかに申し出ること。

事前相談の方法等については、小樽商科大学教務課入試室受験生サイト (<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/>) を確認するか、電話で問い合わせること。

また、事前相談が合否に影響することは一切ない。

13 個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人小樽商科大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。

(2) 志願者の氏名、住所その他出願書類により取得した個人情報及び入学試験成績については、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等の調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用する。

(3) 合格者の個人情報は、入学後の学籍管理、成績管理、授業料管理、図書館利用管理の他、教育活動、学生生活支援及び就職支援活動に必要な組織内の業務遂行のためにのみ利用する。

なお、北海道内の国立大学が、教養教育の充実強化を図る目的で締結した単位互換協定に基づく包括的授業の運営のため、前記の業務に必要な個人情報を各大学及び北海道地区国立大学連携教育機構に提供することがある。

14 受験上の注意

(1) 試験当日は、必ず「本学受験票」を持参すること。受験票がなければ学力検査及び面接試験を受けることができないので注意すること。

(2) 試験当日に「本学受験票」を紛失又は忘れた場合は、係員の指示を受けること。

(3) 試験日における試験室への入室開始時刻は、9:00とする。受験者は遅くとも試験開始20分前までに各自の試験室に入室し、受験番号を確認の上、着席していること。

(4) 試験時間中は、「本学受験票」を常に机の上に置いておくこと。ただし、試験終了等により退室するときは、必ず携行すること。

(5) **試験時間中、机の上には、次のもの以外の所持品を置いてはいけない。**これら以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがある。

「本学受験票」「鉛筆」「シャープペンシル」「消しゴム」「鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類を除く）」「時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く）」「眼鏡」「ハンカチ」「ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）」「目薬」

(6) 電子機器類（「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型端末」「電子辞書」「ICレコーダー」等）は、試験室入室前にアラームを解除し、電源を必ず切ってから、かばん等にしまうこと。試験時間中に、これら電子機器類を手にとったり、上着等のポケットなどにしまっているなど、身

につけていることが判明した場合、不正行為となることがある。

- (7) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- (8) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従うこと。試験開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認める。
なお、試験当日、定時運行している交通機関に事故又は災害等が発生し、多数の受験者が試験開始時刻までに到着できない場合には、試験開始時刻を繰り下げることがある。
また、試験前日の降雪等により交通機関が乱れ、試験に間に合わない事例があるため、予め天候状況等に留意し、試験の前々日までに受験地に到着するなど、余裕のある旅行計画とすること。
- (9) 上履きは必要ない。
- (10) **不正行為を行った場合は、その場で、受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなり、受験したすべての教科の成績は無効となる。**
- (11) **受験について、電話等で照会する場合は、必ず志願者本人が行うこと。**
- (12) 新型コロナウイルス感染症予防対策に関わることについては、後日受験生サイトに掲載するとともに、受験票送付時に同封する。

15 その他

出願資格を取得見込みの合格者が所定の期日までに資格を取得できなかった場合は、入学を取り消す。

2022年度小樽商科大学編入学試験のための参考文献

以下に、本学の編入学試験にとって役に立つと思われる文献をまとめてあります。
ただし、これらは、出題範囲を限定するものではありません。

【経済学】

- 福田慎一・照山博司『マクロ経済学入門 第5版』有斐閣 2016年
- 二神孝一・堀敬一『マクロ経済学 第2版』有斐閣 2017年
- 奥野正寛（編著）『ミクロ経済学』東京大学出版会 2008年
- 岡田章『ゲーム理論・入門 新版』有斐閣 2014年

【商学】

- 伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門（第3版）』日本経済新聞社 2003年
- 榊原清則『経営学入門（第2版）上・下』日本経済新聞出版社 2013年
- 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記講義／2級商業簿記』中央経済社 2021年
- 岡本清・廣本敏郎編著『検定簿記講義／2級工業簿記』中央経済社 2021年
- 住谷宏『流通論の基礎（第3版）』中央経済社 2019年
- 酒井良清・鹿野嘉昭『金融システム（第4版）』有斐閣アルマ 2011年
- 和田充夫・恩蔵直人・三浦俊彦『マーケティング戦略（第5版）』有斐閣 2016年

【法律問題に関する小論文】

- 林誠司編『カリンと学ぶ法学入門（第2版）』法律文化社 2021年
- 細川幸一（著）『大学生が知っておきたい生活のなかの法律』慶應義塾大学出版会 2016年

【オペレーションズ・リサーチ】

- 大堀隆文・加地太一・穴沢務『例題で学ぶOR入門』コロナ社 2017年
- 森雅夫・松井知己『オペレーションズ・リサーチ』朝倉書店 2004年

【数学】

- 石村園子『やさしく学べる微分積分』共立出版 1999年
- 石村園子『やさしく学べる線形代数』共立出版 2000年
- 三宅敏恒『入門微分積分』培風館 1992年
- 三宅敏恒『入門線形代数』培風館 1991年